

## 第7回 薩摩川内市 次世代エネルギービジョン策定委員会 議事要旨

I 日 時 平成25年1月16日(水) 14:00~16:00

II 場 所 薩摩川内市役所 501 会議室

III 出席者(敬称略)

### ■委員

|              |                                    |
|--------------|------------------------------------|
| 古川 洽次        | 日本郵便株式会社 代表取締役会長                   |
| 上菌 真歩        | 南日本ガス株式会社 代表取締役社長                  |
| 金沢 篤宜        | 富士通株式会社 鹿児島支店長                     |
| 川口 敏郎        | 京セラ株式会社 鹿児島川内工場長                   |
| 水町 豊(坂口委員代理) | 九州電力株式会社 経営企画本部 長期エネルギー戦略グループグループ長 |
| 三本 釈世        | Woman創ing 会長                       |
| 田中 陽一郎       | 公益社団法人日本青年会議所 鹿児島ブロック協議会直前会長       |
| 永山 在紀        | 南国殖産株式会社 代表取締役社長                   |
| 野間口 有        | 独立行政法人産業技術総合研究所 理事長                |
| 葦迫 利郎        | 中越パルプ工業株式会社 川内工場長                  |
| 吉満 祐市        | 株式会社吉満組 代表取締役会長                    |

### ■オブザーバー

|              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 田上 哲也        | 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官 |
| 永野 詳二(寶満様代理) | 鹿児島県 環境林務部 地球温暖化対策課 参事     |

IV 配布資料

|       |  |
|-------|--|
| 資料1   | 今次会合の狙い                                    |
| 資料2-1 | 薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会第6回会合の概要             |
| 資料2-2 | 地域との対話の概要                                  |
| 資料3   | 市民アンケートの結果                                 |
| 資料4   | 薩摩川内市次世代エネルギービジョンに係るパブリックコメントの結果           |
| 資料5-1 | 薩摩川内市次世代エネルギービジョン(案)の全体像                   |
| 資料5-2 | 薩摩川内市次世代エネルギービジョン(案)(概要版)                  |
| 資料5-3 | 薩摩川内市次世代エネルギービジョン(案)                       |
| 資料5-4 | キャッチフレーズ(案)                                |
| 資料6   | 行動計画構成イメージ(案)                              |
| 資料7-1 | 行動計画テーマ8 関連:薩摩川内市特有の観光スタイルの創出と育成           |
| 資料7-2 | 行動計画テーマ9 関連:次世代エネルギーの効果的な導入に関する技術研究及び仕組み作り |

- 資料8 平成25年度予算要求に向けた基本方針と具体的な要求項目例  
参考資料1 第3回かごしま産学官交流会 かごしまの次世代エネルギー研究と活用事例  
参考資料2 国のエネルギー政策の動向

## V 会議進行

### 1. 開会

- ・第7回薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会が開会された。

### 2. 事務局

- ・事務局より委員代理の案内がなされた。

### 3. 委員長あいさつ

- ・古川委員長よりごあいさついただいた。

### 4. 議事

- ・議事進行は古川委員長により執り行われた。

#### (1) 今次会合の狙い

#### (2) 薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会第6回会合の概要

#### (3) 地域との対話の概要

#### (4) 市民アンケートの結果

- ・事務局より、資料1～資料3を用いて説明がなされ、以下の議論がなされた。

(古川委員長) エネルギーのまち薩摩川内市としては、「まちが暗い」というのは大変ショックであったが、実際に聞いてみないとなかなか出ない意見だと思った。「まちが暗い」ことは、次世代エネルギー関連で何とかしたいという意見が多かった。

(野間口委員) このアンケート調査では、日本の地域社会が抱えている課題が如実に出ている。産総研も地域社会との関係は深いので、参考にしたい。この結果を踏まえたビジョンになることを期待している。

(田中委員) 私も薩摩川内市に暮らす人間としてアンケート結果と同じようなことを感じている。この市民アンケート結果は、まちの現状を表している。

#### (5) 薩摩川内市次世代エネルギービジョンに係るパブリックコメントの結果

- ・事務局より、資料4、資料5-1を用いて説明がなされ、以下の議論がなされた。

(古川委員長) 1ヶ月にわたって行ったパブリックコメントの方法と、意見の件数について知りたい。

(事務局) パブリックコメントは、インターネットの他に、中央公民館や図書館、地区コミュニティセンターに案文を設置する、という方法で行った。資料4に載せた意見が全てであるが、正確には、事実誤認で取り下げられた意見が1件あった。

(永山委員) 次世代エネルギーを活用した取り組みについて、太陽光発電を始めとする再生可能エネルギーについては、経済産業省の固定買取制度 (FIT) が進んでいる。薩摩川内市の地域産業資源である農林水産業や観光産業を何とかしたいということで、次世代エネルギーに絡んで明るい将来を見出したいという考えだと思う。国は20兆円を超える緊急経済対策を行うという中で、薩摩川内市として緊急経済対策に絡んでどういう形で次世代エネルギーをやっていくか、もう少し具体的に動いてはどうか。伊藤知事は、とにかく事業を取りに行くという記者会見をされていたし、岩切市長は選挙公約に次世代エネルギーの活用を掲げている。例えば、「地域の再生可能エネルギー等を活用した自立分散型地域づくりモデル事業」に既に取り組んでいる地域もある。農林水産業や観光産業でもモデル事業を立ち上げるなど、具体的な形で進めてほしい。

(古川委員長) 4番、政府が変わったことについて、もう少し詳しくご説明いただきたい。

(事務局) 民主党から自民党へ政権交代したことを契機に、これまで議論してきたエネルギー政策が大きく変わるのではないかと、新しい政策に沿って進めるのであれば、今年度補正予算や来年度の予算方針を見てから決めてはどうか、というご意見であった。我々としては、政権がどの政党かは関係なく、国のエネルギー政策に沿った形で具体的な事業を行っていくことが自治体の姿勢である。

(野間口委員) 今まで薩摩川内市で行ってきたパブリックコメントの反応は、いつも大体このくらいか。

(事務局) 取り上げるテーマによって差がある。パブリックコメントとして全く意見が無かったこともあったが、議員定数に関することでは相当数の反応があった。今回は5件と、事務局としては予想よりも少なかった。

(野間口委員) 政権がどうであれ、市民参加という点は今まで以上に期待されるだろう。どこで市民参加が期待されるのか、もう少し分りやすくすると反応も増えるのではないかと、今後の参考にしていただきたい。

#### (6) 薩摩川内市次世代エネルギービジョン (案) の全体像

#### (7) 薩摩川内市次世代エネルギービジョン (案) (概要版)

#### (8) 薩摩川内市次世代エネルギービジョン (案)

・事務局より、資料5-2を用いて説明がなされ、以下の議論がなされた。

(上藺委員) 以前にも発言したが、電気自動車導入には色々問題がありハイブリッド車が中心になるという報道もある中、あえて「電気自動車等のエコカー」とするのかどうか。

(三本委員) どのように実施していくかが、これからの一番のポイントとなると感じている。

(葦迫委員) 資料5-2、p6、3(2)「大学や企業等との共同で次世代エネルギー関連設備の研究開発が行われ」とあるが、開発センターのような拠点を薩摩川内市内に設けていただければ有難いと思う。

(金沢委員) ビジョンの中身は良いと思う。10年～20年先のなりたい姿も大事だが、緊急経済対策や国交省の防災交付金の活用などで、スピード感をもって具体的な案をつくっていききたいと思う。

(水町様) 資料5-3、p53、ロードマップについて、規模感やスケジュール感を具体化することで、市民

の方も身近に感じられるようになるのではないかと。

(川口委員) ビジョン案は良く出来ている。大事なことは如何に実行するかに尽きると思う。

(吉満委員) 若い人のアンケート回答結果では、学校教育などの永劫性に疑問視されているご回答があったが、それに対する対応が本文中にあった方がいいのではないかと。また、パブリックコメントで、具体例に関する意見がなかったということは、まだよく分かっていないということもあるだろう。もう少し目をひきつけるような文章になればよいだろう。

(田上様) ロードマップを担いでいく人材・キーパーソンについて、アクションプランごとに落とし込んでいくことかもしれないが、その辺りをご検討頂ければ、より活きたプロジェクトになっていくと思う。

(永野様) (〇〇年までに〇〇を〇〇kW 導入するというような) 目標が書かれていないのかと思う人もいるかもしれないので、趣旨を強調してはどうか。

#### (9) キャッチフレーズ (案)

・事務局より、資料5-4を用いて説明がなされ、以下の議論がなされた。

(事務局) 荒木委員より、「エネルギーのまち 薩摩川内」にサブタイトルを付けてはどうかというご提案を頂いている。

(三本委員) 資料5-4の中で、心に響くものはない。

(野間口委員) 「みんなで創る」が入った案が良いと思う。市民が参加される、主役の一人だということが出ての方がいいと思う。

(古川委員長) 他に案があれば、できるだけ早めに事務局にご連絡いただきたい。

#### (10) 行動計画構成イメージ (案)

(11) 行動計画テーマ8 関連：薩摩川内市特有の観光スタイルの創出と育成

(12) 行動計画テーマ9 関連：次世代エネルギーの効果的な導入に関する技術研究及び仕組み作り

・事務局より、資料6～資料7-2を用いて説明がなされ、以下の議論がなされた。

(古川委員長) 10テーマについて、一通りご説明いただいたことになるかと。

(事務局) 残っているのは、テーマ6とテーマ7である。次回の2月の委員会で取り上げたいと思う。また、既に取り上げ済みのテーマについても、見直すべき点があれば深掘りしたい。

(野間口委員) 資料7-1、原子力から再生可能エネルギーまで色々なエネルギーがあるので、修学旅行なども考えてはどうか。数日滞在して、エネルギーについて勉強していただく。産業技術総合研究所では、スーパーサイエンスハイスクールへの講師の派遣や、小中高生への出前授業などもやっている。都会の学生が薩摩川内市に来て、自然を楽しみながらエネルギーの勉強をするというのも面白いと思う。

(古川委員長) エネルギーをテーマにした観光はあまり聞いたことがないので、どう仕立て上げるか。  
学校をターゲットにすることは、1つのアイデアだと思う。また、資料7-2は少しアカデミックな気がするが、住吉先生と話をした上でのことと了解しているので、実現できれば面白いと思う。

**(13) 平成 25 年度予算要求に向けた基本方針と具体的な要求項目例**

- ・事務局より、資料8を用いて説明がなされた。

**(14) その他**

- ・事務局より、参考資料1～2を用いて説明がなされた。

**5. 閉会**

- ・第7回薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会を閉会した。

以上